

大田区地域福祉計画 指標達成のためのウォッチング項目



指標達成のためのウォッチング項目について

令和9年度の実態調査で、本計画の指標の目標を達成していくために、必要な検討・分析していく材料として、以下のウォッチング項目を設定しています。

このウォッチング項目の動向や分析をふまえて、必要な議論を重ね、本計画の進捗管理を行っていきます。

基本目標		計画の指標	直近値	目標	ウォッチング項目
1	つながりを感じることができる地域をめざします。	孤独感や孤立感がないと答えた方の割合	68.7%		現状の居場所分析
		自宅以外で居心地のよい場所を持てる人の割合	80.3%		
		さまざまな特徴や個性をもつ人たちに対し、思いやりや優しさをもって接することができる人の割合	49.0%		現状の居場所への支援策
2	誰もが地域に参加できる共生のまちづくりを進めます。	多様な主体の連携・協働が住みやすい地域づくりにつながっていると実感している人の割合	32.1%		連携協働の事例の見える化
		現在住んでいるまちで、何らかの地域活動に参加したいと思う人の割合	47.9%		区民が参加できる地域活動やボランティアの種別
3	安心して生活できる地域を支えます。	困りごとを抱えた際に誰にも相談できない人の割合	4.6%		困りごとや心配ごとの相談先の種別・候補
		災害時に、できる範囲で地域のために活動ができる人の割合	83.9%		区内の防災・減災訓練や活動状況の把握

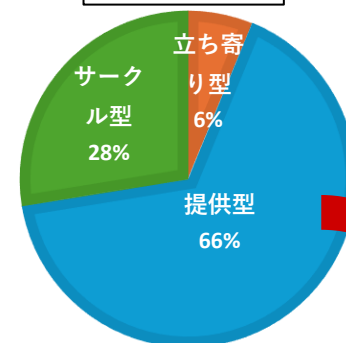
指標達成のためのウォッチング項目 「現状の居場所分析」

大田区社会福祉協議会で、子ども食堂連絡会やつどいの場活動支援助成などで把握している地域の居場所に関する団体263団体について分析

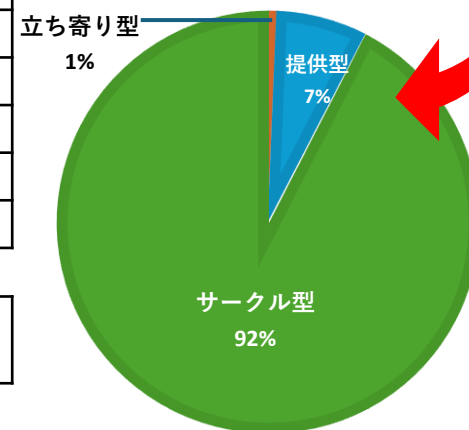
★目的別分類

立ち寄り型	イベント等がなくても、ふらっと立ち寄れる居場所	13	大森	4
			調布	1
			蒲田	7
			糀羽	1
提供型	食提供や学習支援などを目的に参加者が集まり、交流の機会があることで、居場所となる場	148	大森	48
			調布	27
			蒲田	41
			糀羽	24
			広域	8
サークル型	支援を目的とせずに、企画したイベントや取組を目的に参加者が集まり、交流の機会があることで、結果的に居場所となる場	62	大森	13
			調布	22
			蒲田	16
			糀羽	9
			広域	2
サークル型	社会教育団体	1,933		

昨年度の分析



昨年度の分析+社会教育団体



“**交流のできる機会**”となる社会資源がたくさんあることは**区の強み**であり、この強みを活かした居場所のもつ効果から、孤独孤立の防止へとつながる展開を進めていけるのではないかと考える。

例えば、立ち寄り型の居場所 × サークル型の活動(交流の機会)の連携など

サークル活動一覧

多種多様な交流や参加のできる楽しい活動がたくさんある強み

スポーツ	すべて	Q その他 の団体	
暮らし	絵画	大田区民踊連盟	羽田文化センター利用団体 連絡協議会
教養	書道	# 団体交流 / 連盟	# 団体交流 / 連盟
芸術・芸術鑑賞	演劇	📍 消費者生活センター	📍 羽田文化センター
フィットネス・気功	表現		
趣味	芸術鑑賞		
教育	芸能・芸道	美原文化センター利用サー クルの会	大森少年少女ソフトボール リーグ
社会・地域	楽器演奏	# 団体交流 / 団体交流	# 団体交流 / 連盟
その他	合唱・唄	📍 美原文化センター	📍 平和島公園球場
	邦楽		
	製本・絵本製作	大田区洋舞サークル連盟	大田区ダンススポーツ連盟
	手工芸	# 団体交流 / 連盟	# 団体交流 / 連盟
	園芸	📍 不定	📍 大森西区民センター
	華道		
	茶道		
	着付け		
	デザイン		
	色彩		

「現状の居場所分析」

居場所の例

「地域と障がい者施設ではぐくむ地域交流スペース」

IZUMIEN CAFE

店舗型

活動場所：大田区矢口3丁目1-5

活動回数：月～日(不定休)10:30～16:30

障害者支援施設の利用者と職員にて、毎日開催。提供されるメニューは季節ごとにより変わり、低価格で提供されている。地域の方や入所者の方が多数利用されており、毎月第1 水曜日10:00～11:30、地域の赤ちゃんのパパ＆ママの居場所づくりとして、ヒップファミリークラブ矢口主催の「おやこで多言語あそびの会」の開催や、毎月社会福祉士による「障害のある子を育てるお母さんのお話し会」など様々な活動の拠点となっている。



いばしょカフェ アイツ

自前型

活動場所：蒲田1-22-13

活動回数：週1回 13:00～17:00

日本基督教団蒲田教会の1室を借りて、居場所カフェを行っている。ドリンクを1杯100円で提供し、どなたでもどうぞのカフェ。近隣への配食弁当のお届けや、軽作業などを用意し、利用した方が活動の担い手となっている。ただけのような仕組みづくりにも取り組んでいる。



指標達成のためのウォッチング項目 「現状の居場所分析」

居場所の例

池上徳持南たすけあいプラットフォーム「みんなの居場所」

活動場所：徳持児童館、徳持小学校、ファミリーラウンジ

活動回数：毎月1回 9時～15時

活動内容：生きづらさを抱えている人など、誰もが立ち寄れる居場所として、編み物や折り紙づくりなどを実施。得意やできることをもちより、思いのままに過ごせる場を開催。

（出入り自由、申込不要）



あいあいOOMORI不登校の親の会

活動場所：エセナおおた、入新井集会室

活動回数：毎月第3日曜日 14:00～16:00

活動内容：不登校の子どもを抱える保護者が孤立せず、思いを共有し安心できるように、思いを吐き出せる場と情報提供の場。コーヒーや菓子を用意し、話しやすい雰囲気づくりを行っている。

（出入り自由、申込不要）

公共施設等利用型

あいあいOOMORI不登校の親の会

おしゃべり会

お子さんの不登校や行きしぶりに困っている親同士、
ちょっと話してみませんか？
解決策には至らないかもしれないけれど、
同じように悩んでいる仲間とつながることで、
少し心がラクになるかもしれません

回数	日	場所	時間
第11回	3月22日(日)	エセナおおた 第一学習室A	14:00～16:00
R8年度第1回	4月19日(日)	入新井集会室 小集会室	14:00～16:00
第2回	5月17日(日)	エセナおおた 第一学習室D	14:00～16:00
第3回	6月21日(日)	エセナおおた 第一学習室D	14:00～16:00

場所
エセナおおた スマイル大森6F(大森北四丁目6-7)
入新井集会室 Luz 大森4F(大森北一丁目10-14)

参加費
無料

お茶飲みつつ
お話ししよう

さきあい
たすけあい
の
あいあいです

主催：あいあいOOMORI不登校の親の会
協力：入新井地区民生委員・児童委員協議会

お問い合わせ：主任児童委員 眞野
☎ 090-8505-3017

本事業は、「読みだすけあい・地域ふれあい基金」を助成とした
(社) 大田区社会福祉協議会の支援を受けて運営しています

指標達成のためのウォッチング項目 「現状の居場所分析」

居場所の例

雪谷カフェ

店舗型

活動場所：カフェキャビン(大田区南雪谷5-3-12)
活動回数：月1回 第2木曜日 14:00~16:00

同じ地域に住む方々が気軽に集い、ワークショップやゲーム、歌などを楽しみながら、温かい雰囲気の中で交流できる居場所です。毎回、参加者同士で話し合いながら活動テーマを決め、それぞれの思いや関心を共有しながら交流を深めています。

地域で一人暮らしをされている方をはじめ、参加者同士が声を掛け合って参加しており、活動日以外にも顔を合わせて挨拶や会話を交わすなど、日常的なつながりづくりにもつながっています。



Musu. b. i. me (むすびめ)

屋外型

活動場所：水神公園(大田区南雪谷5-10-14)
活動回数：週1回(月)9:00~12:00

学校に行きづらさを抱える子どもたちの居場所です。
「学校に行きづらい、行きたくない」と思ったら一人でいいので、むすびめにおいでと地域に呼びかけ、集まった子どもたちは自由に遊びながら人と関わり、一緒に来る親たちも語り合える場になっています。
近隣のこども食堂が、昼食の提供に協力しており、地域全体で子どもたちを見守る仕組みが出来ています。



指標達成のためのウォッチング項目 「現状の居場所分析」

居場所の例

子どもの学び場Enne(えんね)

公共施設等利用型

活動場所：大森南図書館 2F多目的室(主に小学生向け)
テクノFRONT森ヶ崎 1F多目的室(主に中学生以上)

活動回数：大森南図書館 毎月第一木曜日 16時半～19時
テクノFRONT森ヶ崎 毎月第三火曜日 18時～20時

活動内容：「子どもの学び場 Enne」では、継続的に学習支援に取り組んでいる。Enneの学習支援は、子どもたちの主体性を大切にし、宿題・定期テスト勉強等やることは子ども自身が決めて、スタッフはサポートする形を取っている。



イケイケ体操旭

公共施設等利用型

活動場所：コミュニティーセンター羽田旭

活動回数：毎月第2火曜日 10:00～11:00

活動内容：高齢者を対象にイケイケ体操旭では、元民生委員の住民の方が中心となって月に一度、介護予防の体操・筋力運動などを行っている。年数回程度、特技ボランティアの方を招いての交流会を行うなど、地域の方の交流の場となっている。



現状の居場所への支援策

立ち上げ支援		運営支援		ネットワーク連携支援	
相談支援	子ども食堂の立ち上げに関する相談20件	相談支援	子ども食堂の運営に関する相談2件	子ども食堂連絡会	年3回実施
情報提供	子ども食堂立ち上げ済団体への情報提供10件	広報支援	つなぐ事業:延べ20団体 子ども食堂への一斉メール:14件	個別支援のつなぎ	居場所からの相談件数:19件
場所探し等支援	団体運営支援:152件	助成金 (つどいの場助成)	助成団体:75団体		
助成金 (トライアル助成)	助成団体:6団体	大田区こども食堂推進事業	「こども食堂」の運営団体に対しての補助 R6:47団体		
ボランティア保険案内	行事保険受付:279件 保険加入者:4,681名	食料品の提供	子ども食堂:60団体 パントリー団体:6団体		
立ち上げのしかけ	居場所整備:15件	文房具の提供	せせらぎ館で実施されたステディドライブ 3,080点を子ども食堂など24団体に提供		
福祉ニーズの提供	情報提供:769件	ボランティアの需給調整	ボランティア紹介依頼成立:109件		

指標達成のためのウォッチング項目

多様な主体の連携協働の事例①

大森東地区自治会連合会×地域の若者による 「いつつのわふれあいまつり」

◆取組概要(きっかけ・地域課題・取組内容)

大森東特別出張所および地域包括支援センター大森東と、子ども・若者が地域活動に参加し、地域の中で活躍しながら住民との多世代交流を図ることはできないかについて協議をした結果、「いつつのわ ふれあい祭り」において、大森東地区自治会連合会と連携して取り組むこととなりました。

自治会連合会からは、各自治会ブースの来場者に紹介カード(右記画像)を配布していただき、周知にご協力いただきました。社協ブースでは大森第一中学校の生徒がブースの案内や景品の受け渡しを担当し、主体的に運営に関わりました。さらに、大森東地区在住のイラストを得意とする若者(Wacco氏)にも紹介カード等の作成にご協力いただきました。当日は子どもから高齢者まで多くの方々にご来場いただき、世代を超えた交流の機会を創出することができました。

◆連携団体

大森東地区自治会連合会、大森東特別出張所、地域包括支援センター大森東、大森第一中学校、大森東地区在住の若者Waccoなど

◆連携協働の効果

自治会連合会と特別出張所や地域包括支援センター、社会福祉協議会がつながっている住民や若者が協力して地域の祭りの運営に取り組みました。そのことで、世代を超えて多様な方が参加し、つながりが生まれました。

また、普段は若者が地域に参加する方法は限られていますが、自治会連合会をはじめとした様々な関係者が協力したことで若者の社会参加を実現することができました。



多様な主体の連携協働の事例②

小地域の住民による地域課題の話し合いの場 蒲田西プラットフォーム

◆取組概要(きっかけ・地域課題・取組内容)

「蒲田西地区に多い外国籍の方なども含め、誰もが一緒に楽しめる機会を作りたい」「商店街を盛り上げたい」「地域の福祉施設のこともっと知ってもらいたい」という地域の方の思いを実現するために、地域の様々な団体で協力し、西蒲田商店街にて「おなづかみんなのおまつり」を開催しました。このイベントは、誰もが楽しめるように「みんなの」と名付け、子どもや外国籍の方も読めるようにひらがなで表記しました。趣旨に賛同した参加者が他の団体に声をかけ協力を募り、たくさんの団体が参加してくれました。それぞれの団体が得意なことを持ち寄り、食べ物の販売やワークショップ、道路に落書きなどの非日常を楽しめる企画、来場者アンケートを通した民生委員児童委員との交流などを行いました。

◆連携団体

西蒲田商店街交友会、西蒲田一丁目町会、西蒲田四丁目町会、民生委員児童委員、一般社団法人レガートおおた、大田区地域包括支援センター西蒲田、株式会社くらしの友 お客様貢献室、社会福祉法人 ヒューマン・ネットワーク 結 ENTAS、社会福祉法人プシケおおた かまた生活支援センター・コミュニティスペースにしかまた、NPO法人たすけあい大田はせさんず、個人ボランティア、大田区社会福祉協議会 蒲田地区地域福祉コーディネーター、一般社団法人ともしびatだんだん、矢口消防団第一分団、活動団体等

◆連携協働の効果

多様な立場の方が自身の地域を良くしようと皆で話し合い、自治会・町会や民生委員、商店街をはじめ、様々な専門職や住民が一緒になって取り組むことで普段はできない多様なイベントの実施や、外国籍住民にも配慮した取り組みとなり、多くの方に来場いただきました。

また、関わってくださった皆様が自分たちの地域についてみんなで話し合い、ひとつの取り組みを行ったことで自分たちの住んでいるまちがもっと好きになる取り組みとなりました。



おなづか みんなのおまつりの様子



道路の落書きをみんなでお掃除

区民が参加できる地域活動やボランティアの種別

ボランティア名	内容	対象者	備考
ボランティア受給調整	ボランティア活動を希望する方とボランティアを募集している施設や団体とのコーディネートを行う	どなたでも	ボランティア希望者は個人登録可能、ボランティア受入れ希望はHP等で公開
使用済切手の整理ボランティア	住民等から寄せられた使用済み切手の台紙を切手の周囲5mmを残し裁断する	ボランティア保険加入者であればどなたでも、要事前申し込み	整理した切手を専門業者に買い取ってもらい現金化、その現金で精米を購入しパントリー団体等へ提供する
新聞紙エコバッグボランティア	新聞紙等の古紙を利用してエコバッグを作製する	ボランティア保険加入者であればどなたでも、要事前申し込み	作製したエコバッグは子ども食堂などに食品等配付用として提供する
食品仕分けボランティア	フードドライブで提供された食品等を品目、期限ごとに仕分けする	ボランティア保険加入者であればどなたでも、要事前申し込み	仕分けされた食品等は子ども食堂やパントリー団体に提供する
夏！体験ボランティア	夏休み期間に区内の各施設や団体でボランティアの体験をする	ボランティア保険加入の小学生以上	活動期間は8月一か月、申込は7月前半
ほほえみ訪問	高齢者や心身に障害のある方の自宅へ月2回程度訪問し、安否確認等を行う	絆サポーター (区内在住18歳以上の方、登録制)	年に数回、研修会とサポーター同士の情報交換の機会を併せて提供
ほほえみごはん	18歳未満の子育て世帯に月1回食料品のお届けと見守りや情報提供を行う	絆サポーター (区内在住18歳以上の方、登録制)	年に数回、研修会とサポーター同士の情報交換の機会を併せて提供

ボランティア名	内容	対象者	備考
ご近所さん	産前2か月前から満1歳までの子育て世帯に月1回訪問し、子育て支援グッズや情報を提供する	ご近所さんサポーター (登録制、登録証発行)	大森東、嶺町特別出張所管内にお住まいの方のみ利用可
助っ人サービス	高齢者や障がいのある方の家庭内のちょっとした困りごとや作業のお手伝いをする	絆サポーター (区内在住18歳以上の方、登録制)	20分300円の有償ボランティア
絆サポート	高齢者、障がいのある方、産前産後の方への日常家事支援をする	絆サポーター (区内在住18歳以上の方、登録制)	30分500円の有償ボランティア
特技ボランティア	趣味や仕事で培った特技や経験を活かして施設やイベント等で活動する	特技ボランティアをして登録された方	自治会・町会や学校等からの要望にもお応えします
災害ボランティア	大規模災害が発生した際に被災現場での活動や災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営支援を行う	原則どなたでも (実質は中学生以上) 災害ボランティアバンク登録者	初心者講習、育成研修、災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練を開催
使用済み切手・インクカートリッジ、フードドライブへの寄附	使用済みの切手や家庭用プリンターの使用済みインクカートリッジ、未利用の食品を寄附する	どなたでも	大田区社協で回収し、切手・インクカートリッジは現金化し、精米を購入。未利用食品は仕分け後子ども食堂やパントリー団体等に提供する

区民が参加できる地域活動やボランティアの種別

ボランティア名	内容	対象者	備考
エセナおおたボランティアスタッフ	男女平等推進センターの事業及び管理運営について、センター職員や事業メンバーと共に協力し活動しています。地域における男女共同参画の視点を持ったリーダーの育成を目的としている。	特に制限なし	令和7年2月末現在の登録者数 99 名。
大田区生涯学習ボランティア制度	学びたい、活動したい区民に対し、これまでの学習経験によって得た知識及び技能を提供する個人及び団体の生涯学習に関するボランティア登録制度。	区内在住、在勤又は在学する 18 歳以上の者 ※その他要件あり	
「こども SOS の家」協力員	こどもたちが地域で犯罪等に巻き込まれることを防ぐための避難場所として「こども SOS の家」を設置し、協力員の家、店舗、事業所にステッカーを掲示している。	小・中学校PTA、青少対、自治会・町会等に参加している方や区内事業者	
大田文化の森運営協議会文化ボランティア	大田文化の森で地域の文化活動を支援・推進する任意団体で、企画の立案、企画事業に対するサポート(受付・会場整理・設営など)、イベント時のスタッフなどの活動形態。	区内在住・在勤・在学の方	
国際交流ボランティア	国際都市おおた協会が実施する、様々な事業に参加、協力していただく登録制度。	区内在住・在勤・在学の 16 歳以上	

区民が参加できる地域活動やボランティアの種別

ボランティア名	内容	対象者	備考
区立障害者施設におけるボランティア	散歩の付き添い、施設まつり等の行事の準備や製品づくりのお手伝い、ゲームの運営など、さまざまな活動でボランティアの方を募集している。	各施設によって異なる	
「若草青年学級」協力者(スタッフ)、ボランティア	知的障がいのある青年が余暇活動で趣味講座やレクリエーションを楽しみながら、社会生活を営む上で必要な知識や生活技術を学び仲間づくりを行う当学級の協力者(スタッフ)又はボランティアを募集している。	学級生の介助ができる16歳以上の方(未経験者可)	
ファミリー・サポートおおた提供会員	区内在住・在勤で生後4か月以上おおむね12歳(小学生)以下のお子さんの育児援助を受けたい方(利用会員)と、区内在住で20歳以上の育児援助を行いたい方(提供会員)が登録し、会員同士の助け合いのもとで行われる、有償の子育て援助活動。	区内在住の20歳以上の心身ともに健康な方	活動時間は、午前6時から午後10時までの間で、利用会員が希望する時間
読み聞かせボランティア	大田区立各図書館の要請に応じてグループで活動し、こども等へのおはなし会の企画・実施(読み聞かせ)。	各図書館によって異なる	図書館だけでなく、学校・保育園等に出張しておはなし会をすることもある。

家族以外の困りごとや心配ごとの身近な相談先の種別・候補

活動等を通じて、顔を合わせる機会があり、何かあったときや、心配ごと、わからないことなどがあったときに家族以外で相談できる相手、聞いてあげられる相手となりえるものを想定している。

身近な相談先	主な対象者	内容
自治会・町会	高齢者、子育て世帯等	一定の地域に住む人たちが協力し合い、自主的に運営する団体。18の地域(特別出張所区域)に218の自治会・町会がある。行政機関である特別出張所を拠点として、様々な団体と対等な立場で協力関係を築きながら、地域の問題解決や絆を結ぶための活動に取り組んでいる。
民生委員児童委員	高齢者、子育て世帯等	生活に困っている方や高齢者、障がいのある方、子育て世帯など幅広く地域の方々の相談に応じている。その悩みや問題を解決につなげるため、必要な情報を提供したり、区の窓口や専門機関へとつなげる「橋渡し役」をしている。
居場所(余暇活動・サークル活動)	全区民	学習・文化・スポーツなどにより、自己実現を図り、その活動を通じて地域交流を進めている社会教育団体や区民活動団体等が行う居場所
老人いこいの家	高齢者	高齢者に教養の向上、レクリエーション、介護予防等のための場を提供し、高齢者の心身の健康増進を図ることを目的にした施設
シニアステーション	高齢者	高齢者の元気維持・介護予防のための事業を実施
高齢者見守り推進事業者	高齢者	窓口や訪問先で高齢者の異変を感じた際、地域包括支援センターに情報提供を行ったり、区が発行する高齢者の福祉サービスに関するパンフレット等を配布したりする。
高齢者見守り協力店	高齢者	高齢者の見守りを行っている商店等に、「見守り協力店ポスター」を配布しており、見守り協力店は、買い物に来た高齢者に声かけをしたり、気になる様子的高齢者がいた場合、地域包括支援センターに連絡するなど、地域の中で高齢者を温かく見守っている。

身近な相談先	主な対象者	内容
ほほえみ訪問 (絆サポーター)	高齢者	65歳以上の方または心身に障がいのある方へ、ひと月に2回程度訪問し、玄関先でのあいさつや会話を通して、安否の確認や情報を提供する絆サポーター
児童館	こども・親	図書室や工作室、遊戯室などがあり、乳幼児親子や小学生、中学生の遊びとふれあい、仲間づくりの場となっている。
ファミリー・アテンダント	子育て世帯	子育て世帯の孤独・孤立の防止を図るアウトリーチ型の支援として、子育て経験や子育てに関わりのある訪問員による見守り訪問や、地域ボランティアによる伴奏支援を実施している。
各種生活支援サービス (絆サポーターやにこにこサポート等)	子育て世帯	区や社会福祉協議会、シルバー人材センターなどで地域のボランティアの方を募集し、産前・産後の方への家事援助等の生活サポートを行っている。
こどもSOSの家 (協力員)	こども	趣旨に賛同した区民が協力員となって、こどもたちが下校時などで、つきまとい行為などの被害を受けそうになったり、身の危険を感じたりしたときに助けを求めることができる避難所
こども食堂	こども・親、 高齢者	こどもが一人でも安心して利用できるように食事提供をしている食堂で、体験や学習の場、多世代交流など、誰もが気軽に集まれる居場所
フードパントリー団体	生活困窮者、 ひとり親、高 齢者等	ご家庭、企業・団体の皆さんからのご寄付や、募金を原資に、一時的に生活を維持するための収入を得ることが困難な状況になった方に対して、無料で食料を提供する活動
学習支援団体	こども	こどもを対象に、多様な学びの機会や体験を提供し、貧困の連鎖を断ち切る活動を実施している。家庭環境に左右されることのない学びの機会の提供だけでなく、「生きる力」や「自己肯定感」を育む場にもなっている。
福祉施設関係	全区民	主に社会福祉法人が運営するなど、高齢者の特別養護老人ホームや、障害者の福祉作業所などがあり、施設によっては、多目的室などを地域に開放したり、施設のお祭りなどを行い、地域との交流も図っている。

令和7年度第2回大田区地域福祉計画推進会議の委員からの意見をふまえて追加したこと

身近な相談先	主な対象者	内容
シニアクラブ	高齢者	日々の生活を健全で豊かなものにするため、おおむね60歳以上の方が集まり、会員によるボランティア、健康の増進、生きがいを高めるための運動などを行っている。
福祉事業者	全区民	地域の高齢者や自治会町会などとの関係から福祉の相談が入ってくることがある。
病院、歯医者	全区民	かかりつけの病院や歯医者などでは、病気等をきっかけとした相談や、待合室での井戸端会議になるなどの身近な相談の場になっている。
家族会、当事者の会	障害当事者 やその家族	当事者やその家族同士だからこそ、悩み等に相談しあうことがある。

今後、充実が必要そうな相談先(特に身寄りのない方への身近な相談)

次回以降に向けて調査・検討していく。

身近な相談先
妊婦がもっと気軽に相談できる場
外国籍の方が実際に困ったときに相談できる場

区内の防災・減災訓練や活動状況の把握

防災・減災活動名	内容	対象者	備考
どこでもおおた防災セミナー(出前講座)	申込団体が希望する日時・場所に専門家を派遣し、風水害対策・震災についての講義や「マイ・タイムライン」作成、地震発生時の避難行動について説明	自治体・町会、マンション管理組合などグループ単位	
小・中学生向けおおた防災教室(学校で行う出前講座)	各小・中学校へ防災の専門家を派遣し、風水害時の避難やハザードマップの見方、大規模地震発生時大田区の被害想定等についてわかりやすく授業を行う	小学校(3から6年生)、中学校	
大田区体感型防災アトラクション	設定された制限時間内に仲間とともに協力し、発想力、創造力を駆使して安全確保(脱出)を目指す「全員参加型 体験学習」	区内在住・在学・在勤の方	
おおた防災セミナー	専門家を講師として招き、気象災害の特徴や災害時の情報の収集方法、地震発生時の被害想定や避難行動について学ぶ	自治会・町会、地域団体、学校、家族 等	風水害編、震災編のほか、小中学生向けの出前講座もある。
市民消火隊等合同訓練	市民消火隊、ミニポンプ隊合同訓練。操法発表、ポンプ整備教養、スタンドパイプ取扱体験	市民消火隊・ミニポンプ隊隊員	自治会・町会を母体とする防災市民組織

防災・減災活動名	内容	対象者	備考
発災対応型防災訓練	皆さんが住むまちの中を訓練会場として、地震発生時に地域にある資器材を活用して、災害対応を行う防災訓練	地域住民等	例： ザ・リバープレイス自治会のマンション防災活動、 大森三丁目連合町会の「まちかど防災訓練」・地域の防災リーダー「市民救護隊」、 東六郷一丁目町会の「災害時要援護者」支援体制の整備と居住外国人の参加する防災訓練
防災運動会	防災の知識を楽しく学びながら、地域の顔と顔の見える関係を築く(無線通信訓練、防災〇×クイズ、防災宝探し、避難所体験、バケツリレー)	大人からこどもまでの幅広い地域住民	例： 蒲田東地区自治会連合会のまもりんピック蒲田東(防災運動会)
学校防災活動拠点の訓練	小・中学校などを避難所機能・情報拠点・地域活動拠点の機能を併せ持つ「学校防災活動拠点」とした。「避難所運営マニュアル」の作成、学校防災活動拠点開設・運営訓練を実施	各地区の自治会・町会等	災害時に備え町会、学校、特別出張所の三者が一体となり、運営している。
災害ボランティアバンク	大田区における災害時に、災害ボランティアセンターを開設する際に、登録ボランティアに参集を案内する。平時は、災害ボランティアについて学べる講座や訓練を案内している。	災害ボラセンに協力を希望する方、被災地支援の経験者	登録者には、LINEで災害ボランティア関係の情報をご案内している。
区民活動団体による防災活動	防災・減災活動に関するセミナーやワークショップ等を実施し、意識・啓発など	地域住民等	やっこさんの会、縁プロジェクト、コネクト、地域パートナーシップ支援センター

令和7年度第2回大田区地域福祉計画推進会議の委員からの意見をふまえて追加したこと

防災・減災活動名	内容	対象者	備考
個別避難計画やマイタイムラインの作成	災害時における避難計画等を検討する際に、防災・減災を可かが得るきっかけになる。またOWAT(大田区災害時福祉支援チーム)の活動を検討していく中で、平時からの取組も活かせる可能性がある。	災害時要配慮者 地域包括支援センター 介護支援専門員 社会福祉士など	
福祉施設等の見学	自治会・町会や民生委員児童委員などの地域の方がグループホームなどを見学して、意見交換することで、災害時のことなどを含め学ぶことがある	福祉施設利用者 地域住民等	
自立支援協議会や障害者団体等の活動	大田区の自立支援協議会の防災安全部会や、大身連などの障害者団体の勉強会などで、防災に関する取組、勉強会などを実施している。		